AB&Company.

2024年10月期 第 2 四半期 決算説明資料

株式会社AB&Company

(証券コード:9251)

会社概要

代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門 学校を卒業後、青山の美 容室にてスタイリストと して勤務を開始。低賃 金・長時間労働が常態化 する美容室業界に疑問を 抱き、業界変革を目指し て2009年に独立、創業。

企業理念

「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し 新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることが より良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

事業概要

Ağü.

直営美容室運営 事業



直営店舗の 運営 フランチャイズ 事業



FC店舗の 運営サポート インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした 店舗デザイン、設計、施工

2024年10月期2Q 連結サマリ(前年同期比)

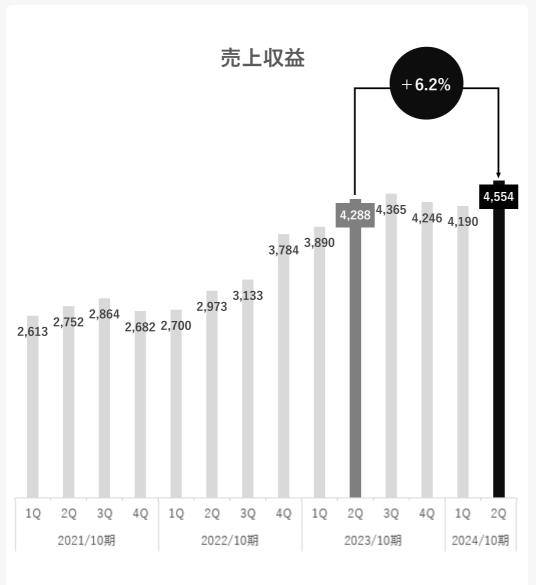
- ・売上収益は前年比+6.2%と堅調に推移
- ・インボイス制度導入の影響等により営業利益は対前年割れであるものの、10単四半期よりもマイナス幅が改善(▲15.6%→▲5.4%)
- ・インボイス制度導入の影響額は1Q単四半期において▲33百万円、2Q単四半期において▲35百万円

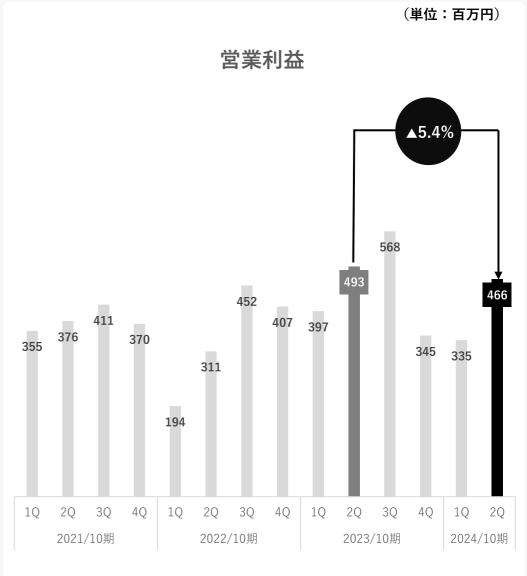
	1Q単四半期	前年同期比	2Q単四半期	前年同期比	2Q累計	前年同期比
売上収益	4,190百万円	+7.7 %	4,554百万円	+6.2 %	8,745百万円	+6.9 %
営業利益	335百万円	▲15.6 %	466百万円	▲5.4 %	802百万円	▲9.9 %
調整後 EBITDA	488百万円	▲10.0 %	619百万円	▲4.7 %	1,108百万円	▲7.1 %

^{*}調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費|を差し引いて算出(使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため)

^{*}インボイス制度導入に対して当社は経過措置を活用しております。同措置により業務委託スタイリストはこれまで同様、免税事業者のままでも制度施行前 2 と同水準の報酬を得られる一方で、美容室運営法人側では仕入税額の控除が一部不可となるため、コスト(売上原価)が増加いたします

四半期実績推移





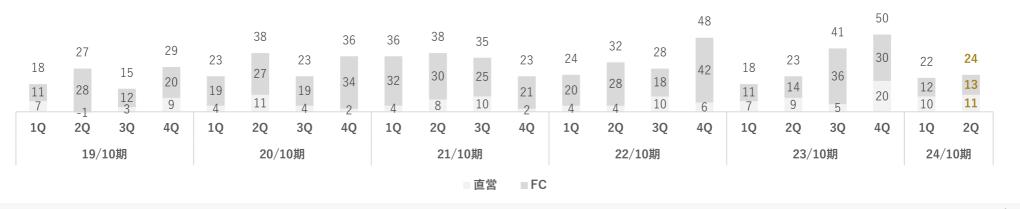
国内店舗数 推移

直営・FC合わせて24店舗の店舗純増。計画よりも若干ビハインドしている状況だが、前年同様下期偏重となる見込。

店舗数

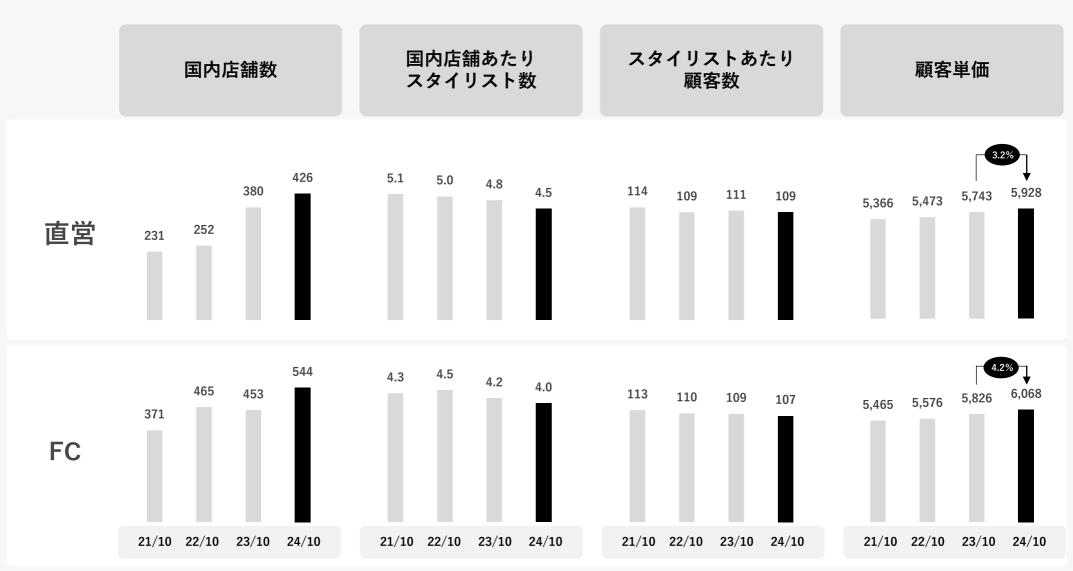
										直営	FC										
	19/3	10期			20/	10期			21/	10期			22/	10期			23/1	10期		24/3	10期
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q												
150 187	178 186	190 189	210 198	229 202	213	217	219	223	231	241	243	247	251	261	364	371	380	385	405	415	426
337	364	379	408	431	469 256	492 275	528 309	564 341	602 371	637 396	660 417	684 437	716 465	744 483	792 428	810 439	833 453	489	519	531	544
																010	022	874	924	946	970

店舗純増数



店舗売上KPI 実績推移(2Qベース)

- ・顧客単価の前年比伸長が顕著(直営: +3.2%、FC: +4.2%)
- ・メニュー(施術内容、単価)の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇



事業セグメント

美容室運営 Agu.等

直営美容室運営 事業 フランチャイズ 事業



直営店舗の運営



FC店舗の 運営サポート

店舗内装のデザイン・工事

インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした 店舗デザイン、設計、施工

セグメント概況(前年同期比) 直営美容室運営事業

- ・インボイス制度の経過措置利用により売上総利益率が対前年比低下
- ・成長投資を優先した新規出店推進により販管費が増加(直近9か月の直営店舗純増数41は同期間ベースでは過去最高)

(単位:百万円)

		1Q			2Q			2Q累計	
	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減
売上収益	3,298	3,498	6.1%	3,504	3,733	6.5%	6,803	7,231	6.3%
売上原価	1,903	2,067	8.6%	2,037	2,217	8.8%	3,940	4,284	8.7%
売上総利益	1,395	1,431	2.6%	1,467	1,516	3.3%	2,862	2,947	3.0%
売上総利益率	42.3%	40.9%	▲ 1.4	41.9%	40.6%	▲ 1.3	42.1%	40.8%	▲ 1.3
販管費	1,325	1,460	10.2%	1,312	1,473	12.3%	2,637	2,933	11.2%
その他収益	2	5	142.0%	6	15	146.4%	8	20	145.2%
その他費用	2	2	14.4%	21	10	▲ 52.1%	23	13	▲ 45.0%
セグメント利益	70	▲ 27	-	139	47	▲66.3%	210	20	▲90.5%
セグメント利益率	2.1%	▲0.8%	▲ 2.9	4.0%	1.3%	▲ 2.7	3.1%	0.3%	▲ 2.8
【参考】経営指導料調整後利益	184	93	▲49.9%	261	175	▲29.9%	445	269	▲39.6%

セグメント概況(前年同期比) フランチャイズ事業

・セグメント利益率40%を維持しており、堅調に成長

(単位:百万円)

	1Q			2Q			2Q累計			
	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	
売上収益	529	627	18.4%	568	680	19.6%	1,098	1,308	19.0%	
外部売上	302	367	21.7%	328	404	23.3%	630	771	22.5%	
売上原価	34	47	38.4%	38	46	20.3%	73	94	28.8%	
売上総利益	495	579	17.0%	530	633	19.6%	1,025	1,213	18.3%	
売上総利益率	93.5%	92.4%	▲ 1.1	93.2%	93.1%	▲ 0.0	93.3%	92.8%	▲ 0.5	
販管費	284	336	18.2%	337	366	8.5%	622	702	12.9%	
その他収益	7	9	15.3%	2	8	253.2%	10	17	71.8%	
その他費用	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
セグメント利益	218	252	15.2%	195	276	41.7%	414	528	27.7%	
セグメント利益率	41.3%	40.2%	▲ 1.1	34.3%	40.6%	6.3	37.7%	40.4%	2.7	
【参考】経営指導料調整後利益	310	359	10.3%	293	393	32.0%	603	753	24.9%	

セグメント概況(前年同期比) インテリアデザイン事業

・材料/人件費の高騰から売上総利益率が悪化

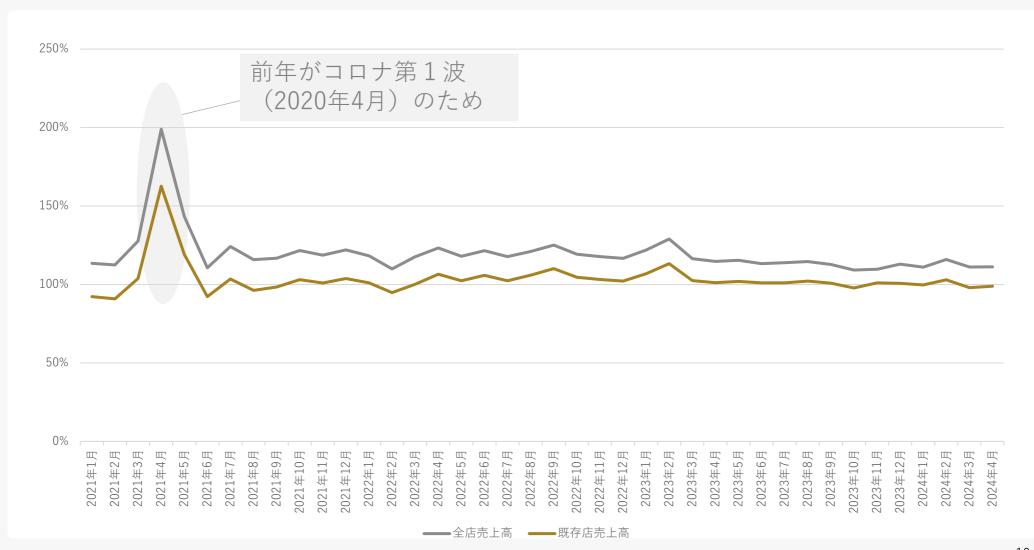
(単位:百万円)

	1Q			2Q			2Q累計		
	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減
売上収益	427	523	22.6%	581	546	▲6.0%	1,008	1,070	6.1%
直営向け売上	137	199	44.9%	125	129	3.5%	262	329	25.1%
FC向け売上	122	159	30.1%	181	181	0.5%	303	341	12.4%
外部向け売上	166	164	▲1.3%	274	234	▲14.5%	441	399	▲9.5%
売上原価	321	401	24.8%	433	430	▲0.7%	754	831	10.2%
売上総利益	105	122	15.9%	148	116	▲21.5%	253	238	▲ 5.9%
売上総利益率	24.7%	23.4%	▲ 1.4	25.5%	21.3%	▲ 4.2	25.2%	22.3%	▲ 2.9
販管費	80	98	22.0%	93	106	13.4%	174	205	17.4%
その他収益	0	0	57.7%	0	0	89.8%	0	1	73.8%
その他費用	0	0	-	1	0	-	1	0	-
セグメント利益	25	24	▲3.2%	52	10	▲80.3%	78	34	▲ 55.5%
セグメント利益率	5.9%	4.6%	▲ 1.2	9.1%	1.9%	▲ 7.2	7.7%	3.2%	▲ 4.5

全店・既存店 店舗売上高(前年同月対比)

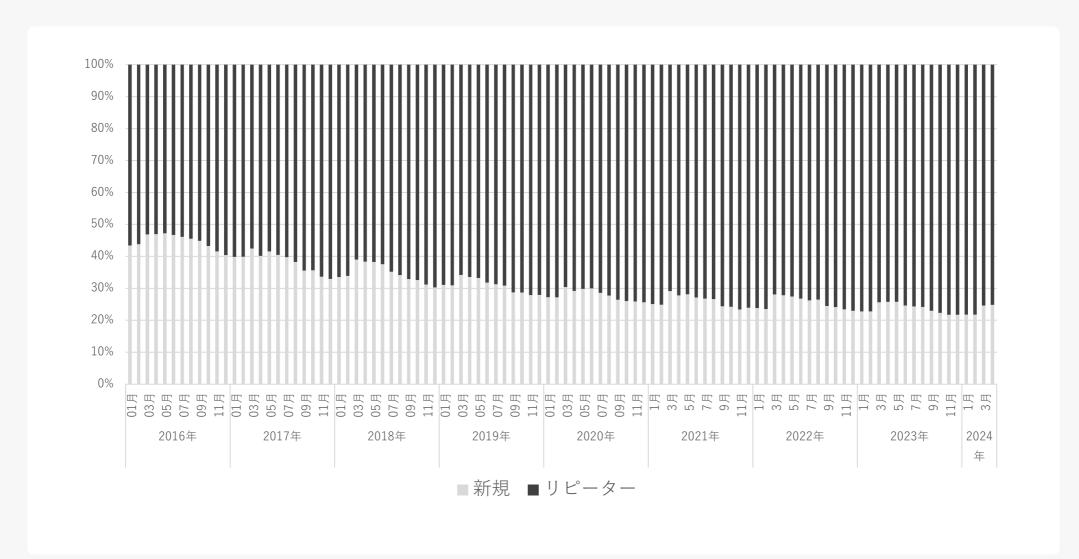
全店売上高:概ね110%前後で推移

既存店売上高:概ね100%前後で推移



リピーター比率

継続的にリピーターは積み上がっている状況



BS概況(IFRS)

(金額単位:百万円)

	2023/10 期末	2024/10 2Q	増減
現金及び現金同等物	2,325	1,993	▲ 332
営業債権及びその他の債権	938	1,016	77
棚卸資産	131	185	53
その他の流動資産	795	451	▲ 344
流動資産合計	4,191	3,646	▲ 544
有形固定資産	1,497	1,551	53
使用権資産	4,678	4,827	149
のれん	8,488	8,488	0
無形資産	4,390	4,379	▲ 11
その他の金融資産	588	615	26
繰延税金資産	578	578	0
その他の非流動資産	56	56	0
非流動資産合計	20,278	20,497	218
資産合計	24,469	24,143	▲ 326

	2023/10 期末	2024/10 2Q	増減
営業債務及びその他の債務	1,074	1,050	▲ 23
契約負債	53	66	12
借入金	1,657	1,866	209
リース負債	1,434	1,492	57
未払法人所得税等	406	208	▲ 198
その他の流動負債	515	473	▲ 41
流動負債合計	5,142	5,158	15
借入金	5,372	5,713	340
リース負債	3,179	3,262	82
引当金	785	821	36
繰延税金負債	1,297	1,297	0
非流動負債合計	10,635	11,094	459
負債合計	15,778	16,253	475
資本金	194	194	0
資本剰余金	5,002	5,001	0
利益剰余金	3,598	3,679	80
自己株式	▲ 111	▲ 995	▲ 884
その他の資本の構成要素	7	10	2
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,691	7,890	▲ 801
資本合計	8,691	7,890	▲ 801
負債及び資本合計	24,469	24,143	▲ 326

2023/10/2開示「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に基づき自己株式取得を実行済

キャッシュフロー計算書

(金額単位:百万円)

	2023年10月期 2Q	2024年10月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	822	725
減価償却費及び償却費	990	1,084
営業債権及びその他の債権の増減	▲ 283	▲ 77
法人所得税の支払額	▲ 256	▲ 410
その他	▲ 134	330
	1,137	1,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	▲ 220	▲ 378
無形資産の取得による支出	▲ 11	1
差入保証金の差入による支出	▲ 29	▲ 37
その他	A 6	7
	▲ 268	▲ 409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	434	▲ 103
長期借入金の調達による収入	0	1,500
長期借入金の返済による支出	▲ 421	▲ 844
リース負債の返済による支出	▲ 716	▲ 807
支払配当金	▲ 421	▲ 422
株式の発行による収入	30	0
自己株式の取得による支出	0	▲ 884
その他	0	▲ 16
	▲ 1,095	▲ 1,577

IFRS適用による留意点

➤ IFRS基準では実質的な家賃(使用権 資産の償却)が減価償却費に含まれ ております

(2024年10月期2Qの実質家賃:750百万円)

▶ 実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済」として計上されております

➤ LBO用借入金の返済額が増加

想定されるご質問への回答

通期計画に対しての進捗

Q:

上半期において、通期計画に対しての進捗率が売上で47.9%、営業利益で40.1%という状況だが、今後の見通しをどのように考えているか?出店進捗についても現状の認識を知りたい。

A:

計画に対して若干ビハインドしている状況。通期業績については当然下期次第ではあるが、現時点において通期計画値から大きく乖離しての着地は想定していない。

出店進捗についても同様に若干ビハインドしているものの、通期計画の店舗純増数140に対して大幅な乖離は発生しないものと想定している。出店環境に大きな変化はなく、今後も着実に新規出店が可能であると認識している。

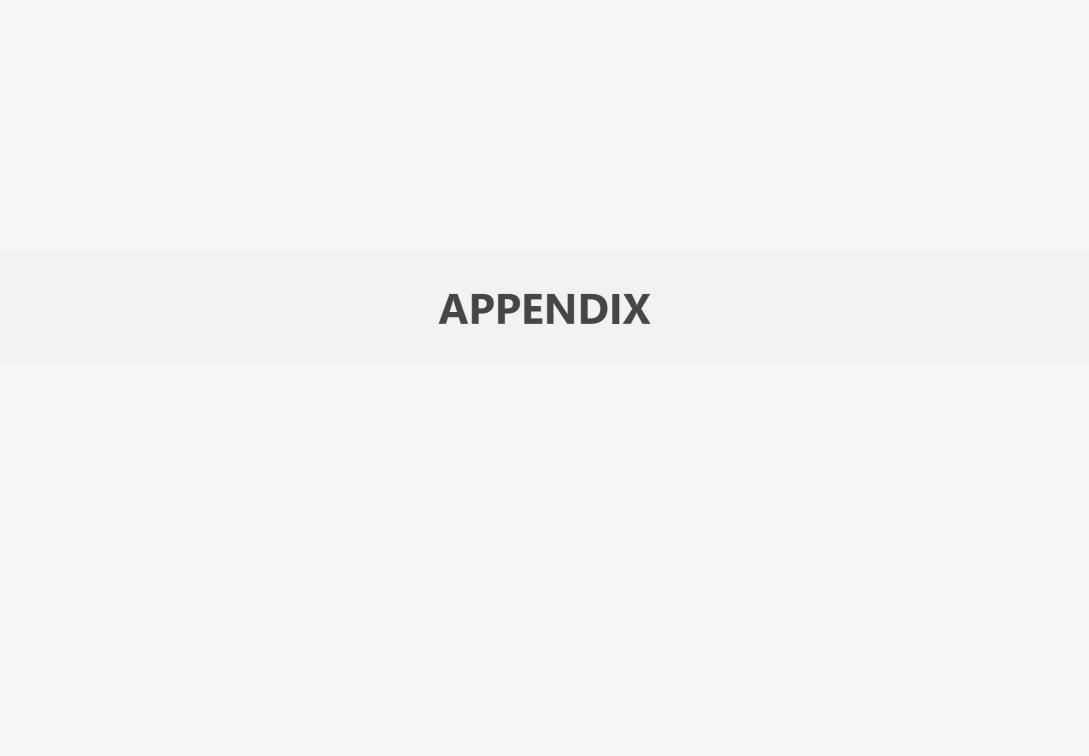
株主還元についての方針

Q:

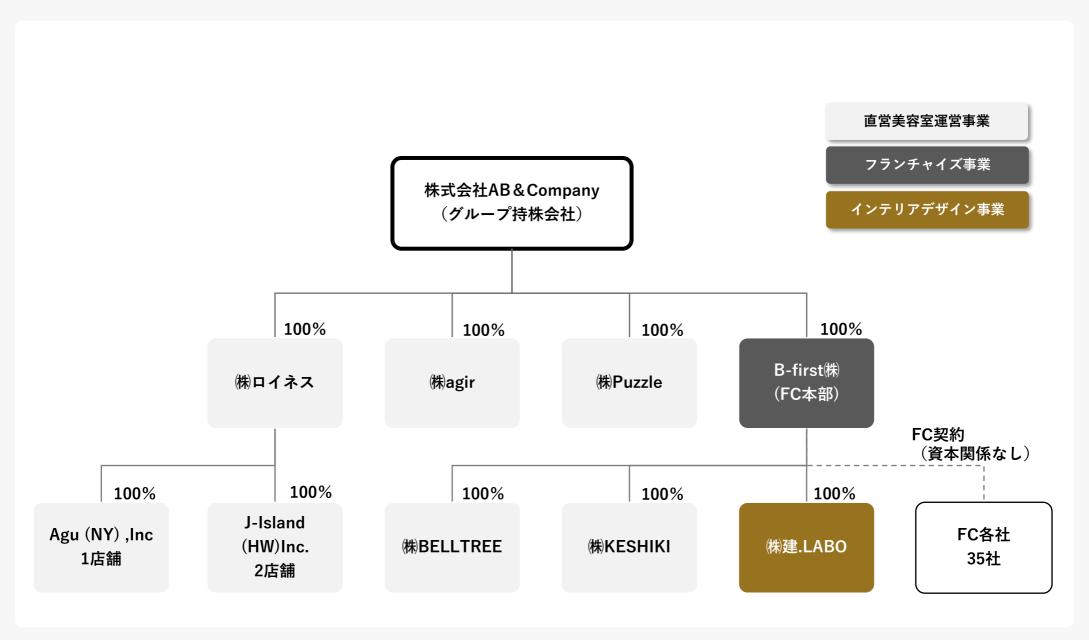
株主還元方針について変更する予定はあるか。

A:

現状はない。ただ、株主優待については商品を拡充させていき、より満足いただけるラインナップとしていきたい。



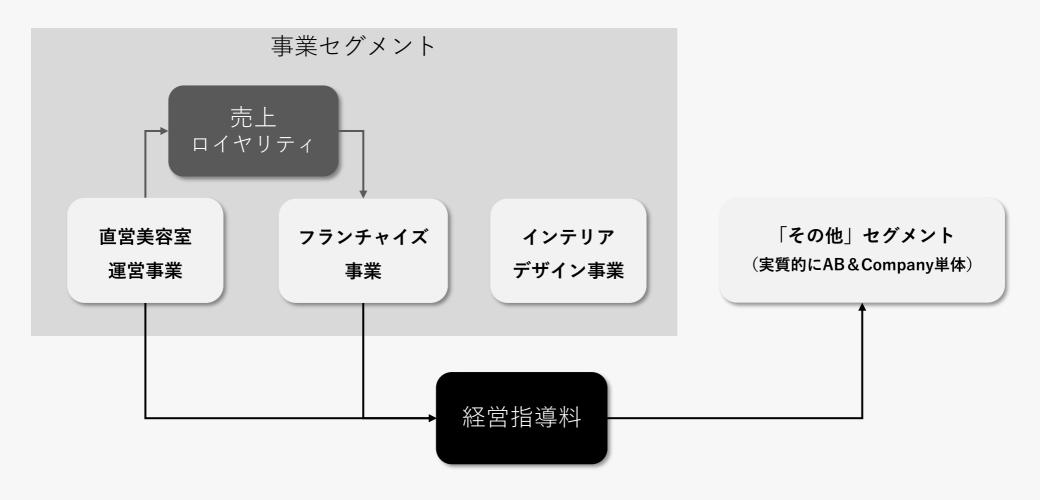
AB&Companyグループ構成図



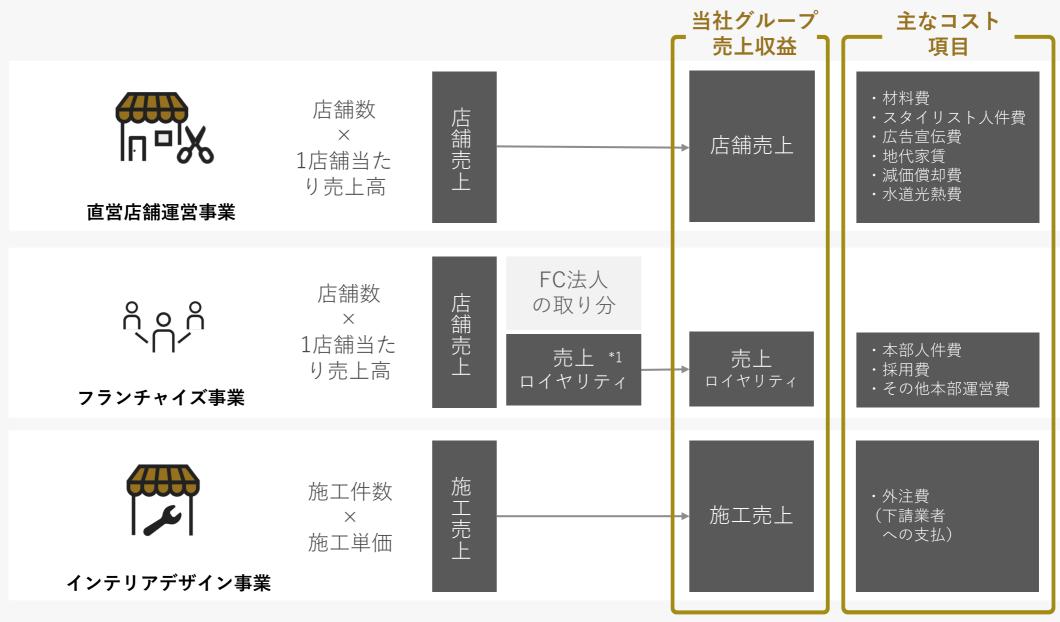
【参考】セグメント構造

*1

直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導 料を支払っている



セグメント毎の収益モデル



^{*1} フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」(仕入代行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動)で構成される